

Royal Flemish Philharmonic

ロイヤル・フランダース・フィルハーモニー

ベルギーが誇る
王立オーケストラ
エド・デ・ワールトと共に
総勢100名で
念願の日本再上陸

オランダ指揮界の重鎮

指揮 **エド・デ・ワールト**
Cond. Edo de Waart

PROGRAM

エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 op.85
Elgar : Cello Concerto in e minor, op.85

マーラー：交響曲 第1番 二長調「巨人」
Mahler : Symphony No.1 in D major "Titan"

2012.6.20 水

19:00開演 (18:30開場)

すみだトリフォニーホール

Wednesday 20 June, 2012 at 7:00p.m. Sumida Triphony Hall

15TH
ANNIVERSARY
SUMIDA
TRIPHONY
HALL
SINCE 1997

◆全指定席：S席10,000円/A席8,000円/B席6,000円/学生券3,000円

トリフォニークラブ会員は各券 **10%OFF**

※会員割引はトリフォニーホールチケットセンターのみの取扱い

※学生券は席をお選びいただけません。カメラータ・トウキョウのみの取扱い

2012年1月12日(木) 発売開始

◆お問合せ・電話予約

カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560 <http://www.camerata.co.jp>

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

ヨーロッパで大活躍の女流、注目の日本デビュー

チェロ **マリー=エリザベート・ヘッカー**
Cello: Marie-Elisabeth Hecker

[主催] カメラータ・トウキョウ [共催] すみだトリフォニーホール [後援] ベルギー大使館

創設 75周年、フィリップ・ヘレヴェッヘ等 歴代指揮者が育んできたベルギーを代表するオーケストラ 首席指揮者エド・デ・ワールトと共に贈る渾身のマーラー！ 話題のチェリスト、ヘッカーの日本デビューは名曲エルガー！

ロイヤル・フランダース・フィルハーモニー Royal Flemish Philharmonic

1937年、ベルギー・フランダース州の首都アントワープに創設。
1985年、ベルギー王家より「王立フィルハーモニー」の称号を得、名実ともに同国最大の楽団となる。
歴代音楽監督にはベルギー出身の名匠アンドレ・ヴァンデルノートを始め、エンリケ・ホルダ、エミール・チャカロフ、ギュンター・ノイホルト、中国出身の異オムハイ・タン等、多彩な顔ぶれが名を連ねており、主たる客演指揮者にはアントワープ出身の大指揮者アンドレ・クリュイタンス、ジョス・ファン・インマゼール、そしてローター・ツァグロセク等の名が挙げられる。
1998年9月、それまで常任客演指揮者として楽団の芸術性に多大な影響を与えてきたフィリップ・ヘレヴェッヘが音楽監督に就任、楽団の国際的評価と知名度をさらに高める結果となった。
これまで共演した音楽家には、M.ロストロポーヴィッチ、N.マガロフ、M.アルゲリッチ、V.アシュケナーズ、M.マイスキー、L.パヴァロッチ、J=P.ランパル、B.ボニー、I.ギトリス、C.バルトリ等、世界の巨匠が顔を揃え、楽界における楽団の重要な地位を物語っている。
フランダースの文化大使として、ウィーンのムジークフェライン及びコンツェルトハウス、ザルツブルクの祝祭大劇場、ロンドンのロイヤル・フェスティバル・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、パリのシャンゼリゼ劇場、ミュンヘンのフィルハーモニー、フランクフルトのアルテオパー等、ヨーロッパ各地の主要コンサートホールを訪れており、日本を含む海外ツアーも活発に行っている。
2011/12のシーズンより首席指揮者にエド・デ・ワールトが就任。



Edo de Waart (指揮)

1941年オランダ生まれ。
アムステルダム・スウェーリック音楽院に学ぶ。
1964年23歳で、ニューヨークの国際ディミトリー・ミトロプーロス指揮コンクールで優勝。賞の一部として、ニューヨーク・フィルでレナード・バンスタインの助手を1年間経験する。オランダに帰国後、ベルナルト・ハイティンクのもとコンサートヘボウ管弦楽団の指揮者助手に任命される。
1967年にオランダ管楽合奏団とロッテルダム・フィルの二つの団体の指揮者に任命され、1973年から1985年までロッテルダム・フィルの音楽監督に就任。1975年にサンフランシスコ響におけるデビューを果たし、翌年から首席客演指揮者に、1977年から1985年まで音楽監督に就任する。以後ミネソタ管、オランダ放送フィル、シドニー響、香港フィル、サンタフェ・オペラの首席指揮者を歴任。さらに2009年ミルウォーキー響の音楽監督、2011年よりロイヤル・フランダース・フィルの首席指揮者に就任。
これまでに、ベルリン・フィルやゲヴァントハウス管、フィルハーモニア管、ロイヤル・フィル、スイス・ロマン管、ボストン響、クリエヴァンド管、ロサンゼルス・フィル、シカゴ響などの、世界各地の主要なオーケストラを指揮している。
20世紀音楽の熱心な擁護者として、サンフランシスコ時代にジョン・アダムズやステューヴ・ライヒらの作品を初演・録音した。オペラ指揮者としても頻繁に活躍、1971年にサンタフェ・オペラでデビューして以来、世界のオペラハウスに出演を重ねている。
サンフランシスコ響や、コンサートヘボウ管、オランダ放送フィル、シドニー響と共に制作した録音は、膨大な数に残る。

Maria Elisabeth Hecker, Cello

ドイツのツヴィッカウに生まれる。
1992年ツヴィッカウのローベルト・シューマン音楽院にて最初のチェロのレッスンを受け、その後ドレスデンのカール=マリア・フォン・ウェーバー音楽院、ライプツィヒのフェリックス・メンデルスゾーン=バルトルディ音楽大学にてペーター・ブルンスに師事。他に、スティーヴン・イッサリス、フランス・ヘルメルソン、バーナード・グリーンハウス、ゲーリー・ホフマン、アンナ・ビルスマのマスターコースに参加し研鑽を積んでいる。マリー=エリザベート・ヘッカーはまた、クローンベルク・アカデミーの支援アーティストである。
2005年にパリのロストロポーヴィッチ・コンクールで第1位、並びに二つの特別賞を受賞した。
これにより一躍世界の楽壇にデビューし、世界各地で演奏をはじめた。
これまでにヨーロッパの主要なオーケストラと共演、テルミカーノフ指揮ケルビノ管、パシュメット指揮新ロシア響、ギドン・クレーメルとクレメラータ・バルティカ、ゲルギエフ指揮マイリンスキー管、ソリオム指揮マーラー室内管、ファビオ・ルイージ指揮ウィーン響、ティエレマン指揮ミュンヘン・フィル、キタエンコ指揮ドレスデン・フィル、ヤノフスキー指揮スイス・ロマン管、ブリバエフ指揮ベルリン・ドイツ響等と協演している。リサイタルも活発に開催、バルセロナ、ベルリン、ミュンヘン、パリ、ジュネーヴのほか、ロッケンハウス、ハイムバッハ、マンチェスター、ダヴォス、ルツェルンの音楽祭等にも出演している。
マリー=エリザベート・ヘッカーは1864年製、ルイジ・バジョーニ (Luigi Bajoni) 製作の楽器を使用。

◆全指定席：S席10,000円/A席8,000円/B席6,000円/学生券3,000円

トリフォニークラブ会員は各券10%OFF

※会員割引はトリフォニーホールチケットセンターのみの取扱い
※学生券は席をお選びいただけません。カメラータ・トウキョウのみの取扱い

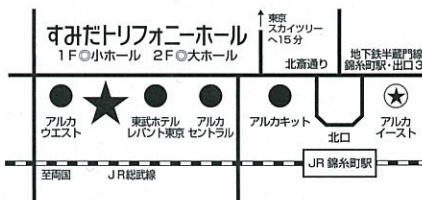
2012年
1月12日(木)
発売開始

◆お問合せ・電話予約

カメラータ・トウキョウ
03-5790-5560 <http://www.camerata.co.jp>
トリフォニーホールチケットセンター
03-5608-1212

◆チケット取扱い

カメラータ・トウキョウ	03-5790-5560	http://www.camerata.co.jp
トリフォニーホールチケットセンター	03-5608-1212	
チケットぴあ	0570-02-9999(Pコード:157-560)	
e+(イープラス)	http://eplus.jp	
Confetti (カンフェティ)	0120-240-540	http://confetti-web.com/
東京文化会館チケットセンター	03-5685-0650	



すみだトリフォニーホール

★ JR・東京メトロ「錦糸町駅」より、徒歩約5分
★ 東京スカイツリー®より徒歩15分

※都合により公演内容の一部変更となる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。